

原文部分：

人型ロボの挑戦

先日、群馬県の知人から細長い宅配便が届いた。「生もの」「割れもの」と注意書きが2枚はってある。自然薯だった。大人の腕ほどもある見事な姿は、なるほど、どこも欠けてはならない彫刻を思わせた。

生もので割れものとは、思い込みを裏切る異質の取り合わせだ。宅配で送るものでは、あとはメロンぐらいだろうか。同様の意外性を、人間そっくりのロボットにも感じる。人肌をまとったような機械には、軟と硬、温と冷が同居している。

ある百貨店グループが、初売りの話題づくりに人型ロボットの注文を取った。2体限りの特製で、価格は西暦にちなんで2010万円。それでも全国で数十件の応募があったそうだ。

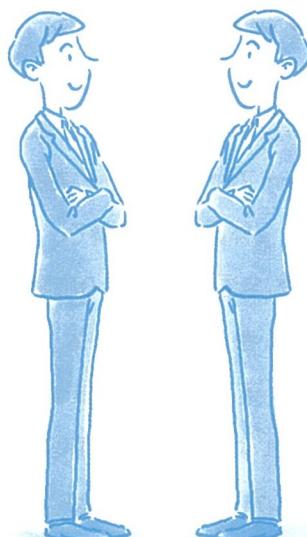
抽選のうえ、購入者と同じ顔、体、声を持つロボットを、開発会社のココロ（東京）が半年かけて作る。あらかじめ用意した言葉を、それなりの表情や身ぶりでしゃべるという。同じ大金を出すなら別の容姿にしたい気もするが、自分がも

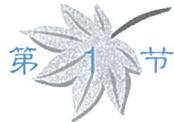
う一人いる世界も面白い。

ロボットの好感度は、外見や動作が人間に近づくほど増す。ところが、ある時点では強烈な不快感に転じ、人と見分けがつかない水準で好感に戻るという。中途半端に入っぽい段階を「不気味の谷」と呼ぶそうだ。『ロボットのいる暮らし』（ロボット実行委員会編）に教わった。

人と機械という異質をすり合わせ、「谷」を越えようとする人型ロボ。重さ100キロというから、輸送時は「割れもの」というより大型機械の扱いだろう。包装の片隅にでも小さく「生もの」とはってやりたい。

2010年1月6日



ひとがた ちようせん
人型ロボの挑戦

せんじつ ぐんまけん ちじん ほそなが たくはいびん とど なま
先日、群馬県の知人から細長い宅配便が届いた。「生もの」
わ 「割れもの」と注意書きが2枚はつてある。自然薯だった①。
あとなうで みごと すがた
大人の腕ほどもある見事な姿は、なるほど、どこも欠けては
ちようこく おも ならない彫刻を思わせた②。
なま わ おも こ うらぎ いしつ と あ
生もので割れものとは、思い込みを裏切る異質の取り合わ
せだ③。宅配で送るものでは、あとはメロンぐらいだろうか
たくはい おく
④。同様の意外性を、人間そつくりのロボットにも感じる⑤。
ひとはだ きかい なん こう おん れい どうきよ
人肌をまとったような機械には、軟と硬、温と冷が同居して
いる⑥。



仿真机器人的挑战

前些天，群马县的一位熟人通过“宅急送”给我寄来了一个细长的包裹。上面贴有“生鲜食品”和“易碎品”两个提醒注意的标签。里面是山药，粗壮如大人的手臂一样，它的形状如此漂亮，这使我联想到它是一件必须小心轻放、绝不能摔坏的雕刻作品。

“生鲜食品”和“易碎品”，这两者是性质不同的东西，

把它们放在一起，违背了人们固有的观念。在用“宅急送”寄的东西中，（同时具有这两种不同性质的）还有就是香瓜了吧。在与人酷似的机器人身上也可以感觉到同样的“意外性”，即裹上人体肌肤的机器人（直译：机械）同时存在着软和硬、温与凉两个对立面。

① **注解** 这是指包裹里的东西。注意不要想当然把「自然薯」当成了（野生的）“番薯”、“白薯”、“红薯”等，其实，它是“山药”，日本人把它当菜吃，吃法多样。另外，还用它做药材，有滋补强身的作用。注意此词的读音是「じねんじょ」而不是「しぜんじょ」或「しぜんいも」。

② **注解** 「腕」与汉语的“腕”为同形异义词，指“手臂、胳膊”，而不是“手腕”。「どこも欠けてはならない彫刻」，从字面上看，就是“哪个部分都不能缺的雕刻”。「思わせた」是「思う」的使役态，意思是“使我（指作者）想到……”。

③ **注解** 这句话很难懂。其实，它是指“生鲜食品”和“易碎品”是两种性质不同的东西，把它们（两个标签）放在一起令人感到不协调。

④ **注解** 这句也很难懂，因为太简练了。译文中加了括号部分的注释文字后就好懂了。

⑤ **注解** 所谓「意外性」，是指机器人也有如上述“生鲜食品”和“易碎品”两个性质不同的对立面。此句紧接的下一句便说明了这个问题。

⑥ **注解** 所谓「軟と硬、温と冷」，是指机器人裏上的肌肤与机器人铁造部分的两个对立面，即机器人裏上的肌肤是软的、温热的，而机器人的铁造部分却是硬的、冰凉的。

生词&例句

【知人】 ちじん 认识的人；熟人；朋友。**注意** 此词虽可译为“朋友”，但“熟人”、“相识的人”等更接近原词义。

<例句> ● 私たちは知人の紹介で知り合った。⇒ 我们是经熟人介绍认识的。

● 知人を頼ってアメリカに行く。⇒ 去美国投奔朋友。

【宅配便】 たくはいびん 宅急送——显然，这是造自日语的「宅急便」「宅配便」等。

【生もの】【生物】 なまもの 生的食品；生鲜食品。

【割れもの】【割れ物】 (1) わ もの (1) 破碎的东西。(2) 易碎品。

<例句> ● 割れもの注意。⇒ 易碎品，注意小心轻放。

【注意書き】 ちゅういが (1) 注释。(2) 使用说明。(3) 提醒注意的文字。

注意 文中是指提醒注意的标签。

<例句> ● 注意書きをよく読むこと。⇒ 熟读提醒大家注意的文字(部分)。

【はる】【貼る】 は 贴；粘贴。

<例句> ● 切手をはる。⇒ 贴邮票。

● 履歴書に写真をはる。⇒ 在简历上贴照片。

【見事】 みごと (1) 好看；漂亮；美丽。(2) 精彩；精湛；出色。(3) 完全。

<例句> ● なかなか見事なつぼですなあ。⇒ 真是一个漂亮的罐子啊！

● みんなの前で見事な腕前を披露した。⇒ 在大家面前展示了精彩的手艺。

● 予想が見事に的中した。⇒ 预测完全正确。

【欠ける】 (1) 有缺口；有豁口。(2) 缺少；欠缺。**注意** 此词为自动词。

<例句> ● 茶碗が欠ける。⇒ 碗有缺口。

● この本は最後の2ページが欠けている。⇒ 这本书缺最后两页。

【思い込み】 深信；确信。**注意** 此词的动词形式是：「思い込む」

<例句> ● 彼は思い込みの激しい性格だ。⇒ 太认死理儿。

● 彼女は思い込みが激しいので私は誤解を解くのに苦労した。⇒ 她的偏见太深，为了排除误解，我费了很大的劲儿。

【裏切る】 (1) 背叛；通敌。(2) 违背；辜负。

<例句> ● 彼に裏切られたような気がする。⇒ 觉得像是被他出卖了似的。

● 彼は世間の期待を裏切った。⇒ 他辜负了社会对他的期待。

【異質】 异质；性质不同。

<例句> ● 彼は社内で異質な存在だ。⇒ 他在公司里是一个特殊人物。

- この事件は全く異質のものです。⇒ 这是一个性质完全不同的事件。

【取りあわせ】 搭配；配合（在一起）。**注意** 此词的动词形式是：「取りあわせる」

<例句> ●食べ物の取りあわせが悪かった。⇒ 食品搭配得不好。

- この模様の色は取りあわせが美しい。⇒ 这个花样（图案）的颜色搭配得很漂亮。

【そっくり】 (1) 全部；完全。(2) 极像；一模一样。

<例句> ●宝石をそっくり盗まれた。⇒ 宝石全被盗了。

- 肖像画は本人そっくりに出来ている。⇒ 肖像画得跟本人一模一样。

【ロボット】 robot。「ロボ」为缩略语。(1) 机器人。(2) 傀儡。

<例句> ●工場をロボット化する。⇒ 工厂已机器化。

- 今度の支配人は社長のロボットに過ぎない。⇒ 新上任的经理只不过是总经理的傀儡罢了。

【人肌】 (1) 人的肌肤。(2) 体温；体温般的温度。

<例句> ●人肌に触れる。⇒ 触及肌肤。结下深交。

- 酒を人肌に温める。⇒ 把酒略烫一下。

【まとう】 **【纏う】** 缠；裹；穿。

<例句> ●晴れ着をまとう。⇒ 身着盛装。

- こじきはぼろをまとっていた。⇒ 乞丐衣着褴褛。

【同居】 (1) 同居；同住。(2) 并存；同时存在。

<例句> ●私は叔父の所に同居しています。⇒ 我和我叔叔住



第2节

在一起。

- 新思想と伝統観念が同居している。⇒新思想和传统观念并存。

ある百貨店グループが、初売りの話題づくりに人型ロボットの注文を取った⑦。2体限りの特製で、価格は西暦にちなんで2010万円⑧。それでも全国で数十件の応募があったそうだ。

抽選のうえ、購入者と同じ顔、体、声を持つロボットを、開発会社のココロ（東京）が半年かけて作る。あらかじめ用意した言葉を、それなりの表情や身ぶりでしゃべるという。同じ太金を出すなら別の容姿にしたい気もするが、自分がもう一人いる世界も面白い⑨。



译文

有一家百货店集团公司为了在新年的开张销售活动中吸引人们的注意，征集起购买仿真机器人的订单。（但是，）仅限售两台，为特制，价格是按公历2010年而定为2010万日元。据说，尽管如此（贵），（此集团公司）还是从全国各地接到了数十张订单（直译：报名。认购）。

根据抽签结果（决定购买者后），开发商KOKORO公司（东京）要花半年时间制造与购买者具有相同长相、体

形和声音的机器人。据说，(机器人)能够以相应的表情和手势说出事先准备好的话语。既然是同样花巨款，我觉得还是做一个与自己样子不同的(机器人)为好，但是，造一个与自己相同的(机器)人也很有意思(直译：世界上还有一个和自己相同的人同时存在也很有意思)。

⑦ **注解** 「注文を取った」指征集订单、订货等，而不是“收到了订单”或“接到了订货”。这很容易理解错。「話題づくり」意指吸引人们的注意力。【参考】：話題づくり→人がそれについて話したくなるような話題を提供すること。普段と違う振る舞いをし、世間の耳目を集め取り組みなどを指す。

⑧ **注解** 根据句子所含的意义，对「西暦にちなんで」进行了加译，即“按公历2010年”。这样就好懂了。

⑨ **注解** 这句的主语是“我”，也就是本文的作者，这可从「気もする」判断出来。另外，这句的后半句，如采用直译则很难与前半句的译文搭配上，故采用了意译。



生词&例句

【グループ】 group。(1) 小组。(2) 企业集团；集团公司。

<例句> ● 彼もグループに加わった。⇒ 他也加入了此小组。

● 日立グループ。⇒ 日立集团公司。

【初売り】 はつうり 新年开张销售、大甩卖(活动)。

<例句> ● お店の初売り情報。⇒ 各商店新年开张销售活动信息。

【話題づくり】 制造话题；找话题。注意 「づくり」是「つくり（作り）」的浊化音。

<例句> ● 話の話題づくりのコツを教えてください。⇒ 请教我如何制造话题的窍门。

【限り】 (1) 限于。(2) 截止。

<例句> ● 当日限り有効。⇒ 当天有效。

● 大安売りはあす限り。⇒ 大减价到明天截止。

【ちなむ】 **【因む】** 与……有关；根据……。

<例句> ● 憲法記念日にちなむ番組。⇒ 为庆祝宪法纪念日而制作的节目。

● 生まれた町の京都にちなんで京子と名づけた。⇒ 由于出生的城市是京都，便起了“京子”这个名字。

【それでも】 即使那样；尽管如此。

<例句> ● みんなは賛成なのに、それでもあくまで反対するのか。⇒ 大家都同意，难道你还是坚持反对吗？

● 問題はあるがそれでも思いきって実施しなければならない。⇒ 虽然有问题，但还是要下决心实行。

【そうだ】 (助动词) (1) 据说；听说。(2) 好像；像是。

<例句> ● 二人は近く結婚するそうだ。⇒ 听说他们俩最近要结婚了。

● やあ、いつも忙しそうですね。⇒ 哟，看起来你好像总是很忙。

【あらかじめ】 **【予め】** 事先；预先。

<例句> ● あらかじめ知らせておく。⇒ 预先通知。



- あらかじめ計画を立てる。⇒ 事先订计划。

【それなり】(1) 原样；原封未动。(2) 相应的。

<例句> ● 計画は中断したままそれなりになっている。⇒ 计划中断后再也没动过。

- だめならだめでそれなりの対処のしかたがある。
⇒ 不行就不行，还有相应的对策。

【身ぶり】【身振り】みぶり 姿势；架势；动作。【注意】译文用的是引申义（手势）。其实，日语有「手振り（てぶり）」（手势）一词，但它常和「身ぶり」一起用，如「身ぶり手振りで示す」（用手势示意）、「身ぶり手振りで説明する」（借助手势来说明）等。

<例句> ● 彼は逃げるような身ぶりをした。⇒ 他做出要逃走的架势。

- 彼は身ぶりであっちへ行けと私に命じた。⇒ 他做手势让我到那边去。

【大金】たいきん 巨款；巨额资金。

<例句> ● 大金を投げる。⇒ 投入巨额资金。

- 大金をかけて家を造る。⇒ 花巨款建房。

【容姿】ようし 容貌与身姿；姿容。

<例句> ● 容姿端麗な女性。⇒ 姿容美丽端庄的女子。

【気がする】(1) 想；觉得。(2) 好像；似乎。【注意】文中的「気もする」中的「も」指既有这个想法，也有那个想法。也就是说，有两种想法。

<例句> ● 天気が悪いのであまり出かける気がしない。⇒ 因为天气不好，我不太想出门。



第3节

- 那人にはどこかで会ったような気がする。⇒ 那个人我好像在哪儿见过。

ロボットの好感度は、外見や動作が人間に近づくほど増す。ところが、ある時点で強烈な不快感に転じ、人と見分けがつかない水準で好感に戻るという。中途半端に人っぽい段階を「不気味の谷」と呼ぶそうだ。『ロボットのいる暮らし』（ロボLDK実行委員会編）に教わった⑩。

人と機械という異質をすり合わせ、「谷」を越えようとする人型ロボ⑪。重さ100キロというから、輸送時は「割れもの」というより大型機械の扱いだろう。包装の片隅にでも小さく「生もの」とはってやりたい。



译文

机器人的外表和动作越像真人，人们对它的好感程度就越高。然而，据说到了某一个阶段就会转为令人感到极为不快，但到了与真人分不清真假的时候（直译：水平）就又回到了好感状态。在像人又不太像的中间阶段被称为“恐怖谷”。这些是我看了《与机器人一起生活》（机器人LDK实行委员会编）一书后所了解到的。

仿真机器人把两种性质不同的人与机器融合起来，试图越过“山谷”去。据说它重达100公斤，所以运输的时候，

与其把它当作“易碎品”，不如把它当作“大型机械”来处理。我还想在包装（箱）的一个角落贴一个“生鲜”的小标签。

⑩ **注解** 「教わった」指作者从书中学（了解）到了上述所讲的东西。『ロボットのいる暮らし』中的「いる」指“有”、“存在”等，如把它理解为“需要”（需要机器人的生活），就不对了。

⑪ **注解** 这句话的意思是要越过像人又不太像的中间阶段。

生词&例句

【外見】 がいけん 外观；外表；外貌。

<例句> ● 外見を飾る。⇒ 装饰外表。

● 外見で人を判断してはいけない。⇒ 不要以貌取人。

【近づく】 ちかく (1) 靠近；接近。(2) 像；近似。**注意** 文中此词取第二个义项。

<例句> ● 危ない所には近づかないほうがいい。⇒ 最好不要靠近危险的地方。

● だいぶ本物に近づいてきた。⇒ 很像真的了。

【増す】 ますます 增加；增多。**注意** 此词既可作为自动词也可作为他动词。文中此词作为他动词用，即「好感度を増す」。

<例句> ● 輸出が昨年より2割増した。⇒ 出口量比去年增加了两成。（自动词）

● 彼の発言はますます重みを増している。⇒ 他的发言越来越有分量。（他动词）

【転じる】 = 【転する】 转换；转变。**(注意)** 此词既可作为自动词也可作为他动词。文中此词作为自动词用。

<例句> ●攻勢に転じる。⇒ 转为攻势。(自动词)

- 講師は話題を転じ、海外の情勢について述べ始めた。⇒ 讲演者换了话题，开始讲起海外形势。(他动词)

【見分け】 分辨；辨别。**(注意)** 此词常和「つく」(肯定)或「つかない」(否定)搭配使用。

<例句> ●子どもでもこのくらいの善悪の見分けはつく。⇒ 就是小孩子，这点好坏也能分辨出来。

- 暗くて顔の見分けもつかない。⇒ 黑得连面孔都辨别不出来。
- 日本人と中国人はちょっと見では見分けがつかない。⇒ 日本人和中国人就那么一看是分辨不出来的。

【一っぽい】 表示有一种倾向。**(注意)** 如前接动词的话，要用连用形。

<例句> ●子どもっぽい。⇒ 孩子气。

- 忘れっぽい。⇒ 健忘。
- 怒りっぽい。⇒ 很容易发火。

【不気味】 令人害怕；令人毛骨悚然。**(注意)** 此词读「ぶきみ」，不读「ふきみ」。

<例句> ●不気味な沈黙。⇒ 令人害怕的沉默。

- あたりは不気味に静まり返っていた。⇒ 周围静得令人毛骨悚然。

【教わる】 おそ受教于；学习。

<例句> ●ピアノを音楽教師に教わっている。⇒ 正跟着音乐教师学钢琴。

●算数は上田先生に教わった。⇒ 上田老师教我们算术。

【すり合わせ】 あす【摺り合わせ】すあ【擦り合わせ】すあ(1) 磋商。(2) 综合。**注意** 此词的动词形式是：「すり合わせる」。

<例句> ●合意を得るために最後のすり合わせをする。⇒ 为达成协议，进行最后的磋商。

●相違点をすり合わせて最終結論を出す。⇒ 综合不同意见，拿出最后结论。

【扱う】 (1) 对待。(2) 处理。(3) 经营。**注意** 文中的「扱い」为名词形式。

<例句> ●客として扱う。⇒ 以客相待。

●この事件は扱いやすい。⇒ 这个事件好处理。

●この品は当店では扱っておりません。⇒ 本店不经营这种商品。

【片隅】 角落。

<例句> ●部屋の片隅。⇒ 房子的一个角落。

●町の片隅に住む。⇒ 住在城镇的偏僻角落里。

日语难读词之角

●竜巻（たつまき）：龙卷风。

竜巻に船が巻き上げられる。⇒ 船被龙卷风掀起
来。

●老舗（しにせ）：老铺。

この店は町では老舗を誇っている。⇒ 这家店在
镇上号称是老铺子。

●居候（いそうろう）：寄食；寄居。

友人の家に居候する。⇒ 寄食在朋友家。

